

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業【成果及び評価】

(単位：円)

No.	経済対策との関係	補助・単独	事業名	事業の概要(実施計画) ①目的・効果 ②交付金を充當する経費内容 ③事業規模 ④事業の対象(交付対象者・対象施設等)	事業 時期	事業 続期	総事業費	補助対象事業費				実施内容	成果及び評価 ①成果・効果 ②評 価	
								国庫補助額	交付金充當 経費	起債額	その他			
1	①-Ⅲ-2. 地域経済の 活性化	単独	肝付町産水産物利用 補助金	①新型コロナウイルス感染症拡大により価格が落ち込んでいる肝付町内産の水産物を学校給食に提供することにより、町内の水産業者を支援する。 ②補助金 ③カンパチ：5,200円×500kg=2,600,000円 ④肝付町学校給食運営審議会 (小学校児童・教職員768人、中学校生徒・教職員400人)	R3.7	R4.3	2,600,000	2,600,000	0	2,000,000	0	600,000	価格が落ち込んでいる肝付町内産の水産物を学校給食に提供することにより、町内の水産業者を支援する。	①肝付町内産カンパチ 607.95kg 2,980,348円(補助対象額2,600,000円) ②定期的に購入することにより、町内の水産業者を支援することができた。また、児童・生徒にも好評で、地元産の魚の良さを知らせてもらえるきっかけにもなった。
2	①-I-1. マスク・消 毒液等の確 保	補助	学校保健特別対策事 業費補助金	(感染症対策等の学校教育活動継続支援事業) ①各小・中・義務教育学校の教育活動継続において児童生徒・教職員等の感染症対策を支援すること ②感染症対策に必要な物品の購入等経費(消耗品費・備品購入費等) ③消耗品費(5小学校・4中学校・1義務教育学校 2,840千円) 備品購入費(5小学校・4中学校・1義務教育学校 6,610千円) 学校分経費 2,840千円+6,610千円=9,450千円(学校保健特別対策補助金内定額 4,600千円) ④町	R3.6	R4.3	9,579,387	9,579,387	4,600,000	4,850,000	0	129,387	各小・中・義務教育学校の教育活動継続において児童生徒・教職員等の感染症対策を支援するため、感染症対策に必要な消耗品・備品を整備。 【小学校5校・中学校4校・義務教育学校1校】 消耗品費：3,094千円 備品購入費 計：6,485千円 合 計：9,579千円 (うち、学校保健特別対策補助金 4,600千円)	①各小中学校、義務教育学校でのクラスター0件 ②消毒液や自動消毒機の確保、また空気清浄機や体温計、バーション等の備品を購入することで新型コロナウイルス感染症予防の対応ができ、クラスター発生を抑制することができた。
3	①-II-4. 生活に困っ ている世帯 や個人への 支援	単独	学生支援事業	①新型コロナウイルス感染症により生活が困窮している学生等に対して給付金を支給する。 ②扶助費 ③昨年度支給実績12,000,000円(240人×50,000円)に10%の増加を見込み算定12,000千円×1.1=13,200千円 ④本人又は保護者が町内に住所を有する大学生、短期大学生及び大学院生・高山看護専門学校学生等	R3.7	R3.12	11,450,000	11,450,000	0	11,400,000	0	50,000	新型コロナウイルス感染症により生活が困窮している学生等(本人又は保護者が町内に住所を有する大学生、短期大学生及び大学院生・高山看護専門学校学生等)に対して給付金を支給する。	①給付金総額11,450,000円(229人×50,000円) 大学121人、大学院3人、短大15人、高専1人、予備校3人、専門学校53人、高等学校専門課程6人、看護専門学校27人 ②新型コロナウイルス感染症により生活が困窮している学生等に対して給付金を支給することで、少しでも生活支援の援助をすることができた。
4	②-II-1. デジタル改 革	単独	肝付町道路台帳情報 化(DX)推進業務	①道路台帳を電子化し、現在運用中の統合型GISを活用する事により、来庁者低減による接 触機会の削減及び職員在宅勤務時における住民サービスの維持を目的とする。 ②肝付町道路台帳情報化(DX)推進業務委託料 22,374千円 ③町道延長 265.83km ④町 (基本的対応方針(令和3年11月19日変更)45ページ8行目)	R3.7	R4.3	22,400,000	22,400,000	0	22,000,000	0	400,000	道路台帳を電子化し、統合型GISを活用する事により、来庁者低減による接触機会の削減及び職員在宅勤務時における住民サービスの維持する。	①肝付町道路台帳情報化(DX)推進業務委託料 22,400千円 ・町道台帳電子化 延長 265.83km ② ・窓口業務が簡略化・時間短縮でき、窓口での対面・混雑による三密を避けることができた。 ・新型コロナウイルス対策による在宅勤務移行時に発生する職員数が減少した場合においても、住民サービスを確保することができた。
5	①-Ⅲ-1. 観光・運輸 業、飲食 業、イベン ト・エン ターテイン メント事業 等に対する 支援	単独	肝付町バス・タク シー等事業者緊急支 援金交付事業	①新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けている、町内の貸切バス事業者・タクシー事業 者及び運転代行事業者の事業支援のため支援金を交付し、事業継続を支援する。 ②補助金 ③貸切バス100,000円×15台=1,500,000円 タクシー30,000円×23台=690,000円 運転代行10,000円×3台=30,000円 合計 2,220,000円 ④肝付町内で貸切バス・タクシー・運転代行等事業を営む事業者	R3.7	R4.3	2,140,000	2,140,000	0	2,000,000	0	140,000	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けている、町内の貸切バス事業者・タクシー事業者及び運転代行事業者の事業支援のため支援金の交付を行った。	①申請件数：6件 ・バス：15台×100,000円=1,500,000円 ・タクシー：20台×30,000円=600,000円 ・代行車両：4台×10,000円=40,000円 ②利用が減少している旅客車両に応じた支援を行うことで、車両維持のための支援ができた。
6	①-Ⅲ-2. 地域経済の 活性化	単独	肝付町商品券配布及 びプレミアム付商品 券販売事業	①全町民への商品券配布を併せてプレミアム付商品券の販売により、新型コロナウイルス感染 拡大により打撃を受けている町内経済の活性化、消費需要の喚起を図る。 ②換金分負担、印刷費、人件費等の事務費 ③配布商品券 5,000円×15,000冊=75,000,000円 プレミアム分(60%) 3,000円×15,000冊×45,000,000円 換金、印刷等事務費 7,329,000 送料 3,802,000円 封筒等商品消耗品 389,000円 合計 131,520,000円 ④基準日時点で町内に住所を有する全町民	R3.7	R4.3	126,629,537	126,629,537	0	125,488,000	0	1,141,537	全町民への商品券配布を併せてプレミアム付商品券の販売により、新型コロナウイルス感染拡大により打撃を受けている町内経済の活性化、消費需要の喚起を図った。	①商品券配布冊数：14,521冊 プレミアム付商品券販売冊数：14,871冊 換金額合計：190,263,500円 ②商品券の配布及びプレミアム付商品券の販売により、町内商工業者の支援と同時に、町民支援を行うことができた。
7	①-Ⅲ-1. 観光・運輸 業、飲食 業、イベン ト・エン ターテイン メント事業 等に対する 支援	単独	肝付町飲食店・旅館 等支援金交付事業	①新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い売上高が減少する町内の飲食店・旅館等の事業支援 のため支援金を交付し、事業継続を支援する。 ②補助金 ③定額給付 30,000円×61件=1,830,000円 加算(減少率20%以上～50%未満) 70,000円×18件=1,260,000円 加算(減少率50%以上) 120,000円×43件=5,160,000円 合計 8,250,000円 ④肝付町内で飲食店・旅館等事業を営む事業者	R3.7	R4.3	5,190,000	5,190,000	0	5,000,000	0	190,000	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い売上高が減少する町内の飲食店・旅館等の事業支援のため支援金を交付し、事業継続を支援した。	①申請件数：42件(飲食店36件、旅館6件) ・定額給付：30,000円×8件=240,000円 ・売上減少20%～50%未満：100,000円×3件=300,000円 ・売上減少50%以上：150,000円×31件=4,650,000円 ②大きく売上げが減少した事業者を中心に支援金の交付を行い、事業継続の支援が行えた。

No.	経済対策との関係	補助・単独	事業名	事業の概要(実施計画) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③実施経緯 ④事業の対象(交付対象者・対象施設等)	事業 始期	事業 終期	総事業費	補助対象事業費				実施内容	成果及び評価 ①成果・効果 ②評 価	
								国庫補助額	交付金充当 経費	起債額	その他			
10	①-I-1. マスク・消 毒液等の確 保	単独	投票用紙読取分機 及び付属品等購入事 業	①投票用紙読取分機を導入することにより、開票作業の第1作業「開票係」が行っていた業務を代行することで、事務従事者の接触機会を減らすとともに開票所内の密を回避する。 ②備品購入費 ③投票用紙読取分機 1,188,000円 投票用紙読取分機増設ユニット2台 880,000円 ④投票用紙計数機3台 462,000円 投票用紙交付機3台 374,000円 国民審査用プリンタ1台 73,333円 ⑤町	R3.6	R3.7	6,699,000	6,699,000	0	2,977,000	0	3,722,000	開票事務等に利用する機器の購入を行い、人力を省くことで人員を削減するなどし密を回避する。	①開票事務従事者 平成29年度衆議院議員総選挙 55名 令和3年度衆議院議員総選挙 42名 (必要人数 13名の減) ②開票所において、人力で行っていた投票用紙の分類、一次的判別において機械を導入した。開票に係る従事時間の削減、必要人員数の削減につながり、開票所内での密の回避、対面しての作業時間の短縮が図られた。
11	①-I-1. マスク・消 毒液等の確 保	単独	アクリル板購入事業	①投票所の受付場所に設置し、飛沫防止・感染予防を行う。 ②備品購入費 ③102枚 599,500円 1枚単位の購入ではなく、1セット(102枚)での購入のため、1枚あたりの単価を出すことができない。 ④町	R3.6	R3.7	599,500	599,500	0	599,000	0	500	投票所及び期日前投票所において飛沫感染防止用のアクリル板を導入する。	①1セット(102枚)購入595,000円 投票所(27か所)及び期日前投票所(2か所)において活用 ②投票所において、発声を伴う受付に購入したアクリル板を設置。選挙人の感染防止、また、選挙人の不安軽減につながった。同時に、従事職員の感染防止も図られた。
12	①-II-3. 事業継続に 困っている 中小・小規 模事業者等 への支援	単独	農業者経営体力再生 支援地力増強奨励事 業	①新型コロナウイルス感染症の影響を受け、売上等が減少し、事業の経営に支障が生じているにも関わらず、経営環境の変化に対応するため販路の回復や生産・販売方法の確立・転換などサポートするため、循環型農業の推進、安定的な経営の維持及び継続の支援として堆肥購入費用の一部を補助金として交付する。 ②補助金 ③4,000円/t×1/2×1,300t 積算数量1,300tは、製品/バラ販売数量に基づき積算した数量である。また、住所が町内にあって近隣市町に圏場があっても補助対象とする。 ④町内に住所を有し、肝付町堆肥センターで1回あたり製品堆肥バラ2t以上を購入する者	R3.4	R4.2	1,854,400	1,854,400	0	900,000	0	954,400	経営環境の変化に対応し、販路の回復や生産・販売方法の確立・転換などサポートするため、循環型農業の推進、安定的な経営の維持及び継続の支援として堆肥購入費用の一部を補助金として交付する。	①成果・効果 申請件数:152戸(延べ) 給付件数:152戸(延べ) 給付総額:1,854,400円 ②評価 当事業を活用することで、新型コロナウイルス感染症の影響を克服するため、町内の農業者を対象に良質堆肥を活用した土づくりにより地力増進を促進し、作物の品質向上、収穫量の増加につなげ、生産性の向上・農業経営の安定化が図られた。
13	①-I-3. 医療提供体 制の強化	単独	病院会計繰出	①ひびくする医療供給体制の整備等を地域の実情に応じて柔軟かつ迅速的に実施。発熱外来患者の受け入れや、通常外来患者への感染防止及び院内クラスター防止のための医療従事者感染防止等の更なる環境整備の強化 ②肝付町立病院事業会計に繰り出し、資産購入(機械備品)に要する費用を交付対象経費とする。 ③当該医療圏に感染者が発生した場合の受け入れ体制の整備 1【小型空気清浄機】 113,300円×22台=2,492,600円 【病室全室及び検査室・患者食堂・CT操作室・救急処置室等に配置します。感染のリスクがある患者様及び院内の医療従事者が出入りする箇所に設置予定です。】 【感染症用ストレッチャー】 302,500円×1台=302,500円 (救急搬送時等に、発熱外来患者用として使用します。) 【全自動遺伝子解析装置】 462,000円×1台=462,000円 (PCR検査装置で1時間一人の検査ができ、より迅速な陽性者判別が可能となります。) ④肝付町立病院事業会計 (基本対処方針(令和3年9月28日変更) 67ページ14行目)	R3.6	R3.12	3,257,100	3,257,100	0	3,000,000	0	257,100	発熱外来患者の受け入れや、通常外来患者への感染防止及び院内クラスター防止のための医療従事者感染防止等の更なる環境整備の強化。 ・小型空気清浄機:2,492,600円(113,300円×22台) ・感染症用ストレッチャー:302,500円(1台) ・全自動遺伝子解析装置:462,000円(1台)	①成果・効果 小型空気清浄機を病棟全室及び減菌室・患者食堂・CT操作室・救急処置室等に設置することにより、院内でのクラスター発生は0件であった。 また、全自動遺伝子解析装置の導入により、PCR検査(1時間/人)で迅速に陽性者判別が可能となった。 ②評価 小型空気清浄機等整備したことで感染リスクを軽減することができた。
15	①-II-3. 事業継続に 困っている 中小・小規 模事業者等 への支援	単独	営業時間短縮 要請協力金 給付事業費負担金	①県が給付する新型コロナウイルス感染症対策時短要請協力金の町負担分 ②負担金 ③58,038千円(肝付町事業者給付見込額)×1/10(町負担割合)≒5,803千円 ④国	R3.9	R4.3	5,803,000	5,803,000	0	5,800,000	0	3,000	営業時間の短縮要請に応じた事業者への、新型コロナウイルス感染症対策時短要請協力金の地方負担分のうち町負担分。	①時短要請期間:R3.8.20~9.30 ・申請件数:52件 ・支給額:58,038,000円×0.2×1/2=5,803,000円 ②営業時間の短縮要請に応じ、その期間の収入が落ちた事業者の事業継続支援が行えた。
16	①-I-1. マスク・消 毒液等の確 保	単独	看護実習用 シミュレータ 購入事業	①新型コロナウイルス感染症拡大により、実習における感染発生が懸念され、また校外での看護実習機会が減少するなど、校内で看護実習を行わざるを得ない現状下、看護シミュレータ導入により、校内での実習環境を整備し、本校生徒が感染しない、感染させないことを目指す。 ②備品購入費 ③シミュレータ本体1式 2,886,000円 フィジカルモデル専用テーブル 132,000円 コントローラ専用テーブル 132,000円 消費税 315,000円 ④町	R3.12	R4.3	3,465,000	3,465,000	0	3,000,000	0	465,000	以下の内容で看護シミュレータを導入した。 シミュレータ本体1式 2,886,000円 フィジカルモデル専用テーブル 132,000円 コントローラ専用テーブル 132,000円 消費税 315,000円	①導入した看護シミュレータにより、校内での実習環境が整備できた。 ②校内実習環境を活用し、減少した校外での看護実習機会を補い、また校外との接触を減らすことで、本校生徒が感染しない、感染させないことを実現できた。
17	①-IV-3. リモート化 等によるデ ジタル・ト ランス フォーメー ションの加 速	単独	町内小中学校 電子黒板機器 リース事業	①全校級への電子黒板配備により、全校集会や他校との交流授業のオンライン対応を実現し、児童生徒の移動・参加による感染拡大リスクを低減する。 ②リース料 ③1,222,760円×12ヶ月 ④町立小中・義務教育学校	R3.4	R4.3	14,673,120	14,673,120	0	14,000,000	0	673,120	全校級への電子黒板配備により、全校集会や他校との交流授業のオンライン対応を実現し、児童生徒の移動・参加による感染拡大リスクを低減する。 町立の小学校5校・中学校4校・義務教育学校1校の全校級に配備した電子黒板のリース代。	①各小中学校、義務教育学校でのクラスター0件 ②電子黒板を使用することで、集会等や交流授業時の児童生徒の移動・参加による感染拡大リスクを抑えることができた。

※図に提出した実施計画のうち、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当した事業のみ掲載しております。